

■広瀬武夫 海軍軍人。＜日露戦争＞で戦死，新旧文化を併せ持ち，国民的英雄として慕われ，のち広瀬神社に祀られた。

ひろせたけお

明治維新・・1868＝ 豊後国直入郡竹田町(大分県竹田市竹田)で次男に生まれ，

父が各地の裁判官を歴任する間，

明治6年政変 1873＝ 5歳：

西南戦争・・1877＝ 9歳：

明治14年政変1881＝13歳： 飛騨高山で，小学校を卒業。小学校教師となるが，

内閣発足・・1885＝17歳：退職して，\_攻玉社を経て，江田島の海軍兵学校に入校，

帝国大学始・1886＝18歳： あわせて，講道館で柔道も学び，

帝国憲法発布1889＝21歳：\_純良・皆勤で，卒業したが，病のため80名中64番で，海軍将校としての出世は遅れ，

日清戦争始・1894＝26歳：

日清戦争終・1895＝27歳：

八幡製鉄始・1897＝29歳：\*大尉の時，ロシア留学生に抜擢されてから，頭角を現し，

Bushidou・・1899＝31歳：ロシア内陸を縦横に歩いて，ロシア国内に知人の数を加え，  
ピア/国産化・1900＝32歳：ドイツ・フランス・イギリスを視察して，西洋事情に明るくなった。海軍少佐。

田中正造直訴1901＝33歳：父の死去後，

教科書疑獄・1902＝34歳：帰国。

日比谷公園・1903＝35歳：\*戦艦{朝日}の水雷長として＜日露戦争＞に出征し，

日露戦争始・1904＝36歳：\*旅順港の閉塞に従って，戦死。中佐に昇進し，軍神になった。